

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE



Applicant(s): KAWAGUCHI, Yuji et al.

Application No.:

Group:

Filed: May 2, 2001

Examiner:

For: PAPER CONTAINER

LETTER

Assistant Commissioner for Patents  
Box Patent Application  
Washington, D.C. 20231

May 2, 2001  
0445-0300P

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119 and 37 CFR 1.55(a), the applicant hereby claims the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	2000-133870	05/02/00
JAPAN	2000-156871	05/26/00
JAPAN	2000-156872	05/26/00
JAPAN	2000-161019	05/30/00
JAPAN	2000-168141	06/05/00

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to deposit Account No. 02-2448 for any additional fees required under 37 C.F.R. 1.16 or under 37 C.F.R. 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By: 

JOHN W. BAILEY  
Reg. No. 32,881

P.O. BOX 747  
Falls Church, Virginia 22040-0747

Attachment  
(703) 205-8000  
/ja

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

I N F O R M A T I O N   S H E E T

Applicant: KAWAGUCHI, Yuji  
FUJITA, Michiaki  
KIZAKI, Hidesato  
OHIRA, Kozo

Application No.:

Filed: May 2, 2001

For: PAPER CONTAINER

Priority Claimed Under 35 U.S.C. 119 and/or 120:

COUNTRY	DATE	NUMBER
Japan	05/02/00	2000-133870
Japan	05/26/00	2000-156871
Japan	05/26/00	2000-156872
Japan	05/30/00	2000-161019
Japan	06/05/00	2000-168141

Send Correspondence to: BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP  
P. O. Box 747  
Falls Church, Virginia 22040-0747  
(703) 205-8000

The above information is submitted to advise the USPTO of all relevant facts in connection with the present application. A timely executed Declaration in accordance with 37 CFR 1.64 will follow.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By

JOHN W. BAILEY

Reg. No. 32,881

P. O. Box 747

Falls Church, VA 22040-0747

/ja

(703) 205-8000

0445-0300P

J1040 U.S. PTO

09/846459

05/02/01

Mag 2, 2001

BSKB

(703) 205-8000

CHUS-03002

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.



出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 5月 2日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-133870

出 願 人

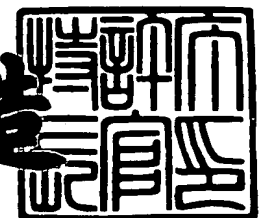
Applicant (s):

花王株式会社

2001年 2月16日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3008826

【書類名】 特許願

【整理番号】 P06723

【提出日】 平成12年 5月 2日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B65D 5/54

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社 研究所内

【氏名】 川口 裕次

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社 研究所内

【氏名】 藤田 実智昭

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社 研究所内

【氏名】 木寄 日出郷

【特許出願人】

【識別番号】 000000918

【氏名又は名称】 花王株式会社

【代理人】

【識別番号】 100081385

【弁理士】

【氏名又は名称】 塩川 修治

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 016230

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9107591

特 2 0 0 0 - 1 3 3 8 7 0

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 洗剤容器

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 個装洗剤を収容する容器であって、  
容器本体と蓋とをヒンジ結合し、該容器本体の正面板に凹状切欠部を備える洗剤容器。

【請求項 2】 板状洗剤を積層して収容する容器であって、  
外箱に蓋をヒンジ結合してなる容器本体と、外箱の内面に沿うように挿入される印箋部とを有し、該印箋部に閉じ状態の蓋の内面が被さり、該印箋部に凹状切欠部を備える洗剤容器。

【請求項 3】 前記印箋部に、開封後の再閉蓋時の蓋の縁に係止し得る蓋差込部を備えた請求項 1、2 に記載の洗剤容器。

【請求項 4】 前記容器本体が紙からなり、容器本体の開口縁部に易切断部を介して蓋を結合してなる請求項 1 ～ 3 に記載の洗剤容器。

【請求項 5】 前記容器本体のヒンジ結合部が、容器本体の背面板と蓋の天面板との間の稜線に施した請求項 1 ～ 4 に記載の洗剤容器。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、塊状洗剤、板状洗剤、錠剤洗剤、シート状洗剤等の個別に包装した個装洗剤のための洗剤容器に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

洗剤容器では、箱体に蓋をヒンジ結合し、洗剤を収容した箱体の開口縁部の全周にシール材を封着することにより、洗剤の吸湿を防止している。

【0 0 0 3】

【発明が解決しようとする課題】

①箱体は、有底直方体状をなして天面のみ開放するにすぎないため、上下に積

層して収容した個装洗剤を取出しにくい。特に個装洗剤で個装材料が水溶性材質の場合、吸湿によって個装洗剤同士が貼りつき、個装洗剤がより取出しにくい。

【0004】

②容器の開封に際しては、箱体の開口縁部のシール材を全周に渡って剥離する必要がある、開封しにくい。

【0005】

③従来、容器本体背面板の途中でヒンジ結合した蓋で構成されているため、蓋を開けると、容器本体背面板と容器背面側の壁との間に隙間がない時、容器の蓋と壁とがぶつかり開蓋困難にすることがあった。

【0006】

本発明の課題は、個装洗剤を取出し易く、然もその吸湿を防止することにある。

【0007】

また、本発明の課題は、開封性も向上することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】

請求項1に記載の本発明は、個装洗剤を収容する容器であって、容器本体と蓋とをヒンジ結合し、該容器本体の正面板に凹状切欠部を備えるなるようにしたものである。ここで個装洗剤は、個装材料が水溶性材質でつくられ、個装洗剤をそのまま洗濯機へ投入できるものと、個装を引き裂いて、洗剤を取出して使用するものがある。

【0009】

【発明の実施の形態】

図1の洗剤容器10は、外箱21と蓋22とからなる容器本体20と、外箱21の内面に沿うように挿入される印箋部30と、外箱21と印箋部30の底部に敷かれる洗剤にじみ防止用底板40とを有し（図5）、板状洗剤1を例えば30枚積層して収容する。

【0010】

容器本体20は、図1～図5に示す如く、板紙（コートボール）の内面側に、

防湿性の板紙、例えばポリエチレンフィルム、板紙（ライナー）を順に貼合せた素材 2 0 A にて構成されている。そして、容器本体 2 0 は、有底直方体状の外箱 2 1 の開口縁部に易切断部 2 3 を介して、有底直方体状の蓋 2 2 を結合している。蓋 2 2 は、容器本体 2 0 の正面下部の水平易切断部 2 3 A、容器本体 2 0 の左右側面の斜め易切断部 2 3 B、2 3 C を介して外箱 2 1 に結合され、容器本体 2 0 の外箱 2 1 の背面板 2 5 と蓋 2 2 の天面板 2 6 との間の稜線に施したヒンジ結合部 2 4 を介してヒンジ結合されている。

## 【 0 0 1 1 】

尚、容器本体 2 0 は、素材 2 0 A の胴面形成部 5 1 の正面部と左右側面部に上述の易切断部 2 3 を設け、易切断部 2 3 とヒンジ結合部 2 4 より下の胴面形成部 5 1 と底面形成部 5 2 により外箱 2 1 を形成し、易切断部 2 3 より上の胴面形成部 5 1 と天面形成部 5 3 により蓋 2 2 を形成している。

## 【 0 0 1 2 】

また、易切断部 2 3 は、上下のミシン目 6 1、6 1 に挟まれる帯状をなし、斜め易切断部 2 3 B、2 3 C の各ミシン目 6 1 は、図 1（B）に示す如く、素材 2 0 A の表裏に渡るように貫通する Y 字状切れ目 6 2 を断続的に配列したものであり、切れ目 6 2 に長辺 6 2 A を易切断部 2 3 の延在方向に、一方の短辺 6 2 B を水平方向に、他方の短辺 6 2 C を鉛直方向に配向し、これにより、相隣る一方の切れ目 6 2 の長辺 6 2 A の端部と他方の切れ目 6 2 の短辺 6 2 B、6 2 C の端部とを水平方向と鉛直方向のそれぞれにおいてつなぐように素材 2 0 A を切断可能とし、素材 2 0 A に切断時の表層剥離を生ずることなく開蓋できるようにしている。尚、易切断部 2 3 は、帯状水平易切断部 2 3 A の中央部に、上下のミシン目 6 1、6 1 に渡る切込線を設け、この切込線が切断開始部 6 3 である。

## 【 0 0 1 3 】

但し、易切断部 2 3 は、帯状であることを必須とせず、また素材 2 0 A の表裏の片方又は両方で薄肉にされた非貫通状の溝状半切線にて構成されるものであっても良い。

## 【 0 0 1 4 】



印篋部 3 0 は、図 5 に示す如く、防湿性の板紙、例えば板紙（コートボール）の内面に、ポリプロピレンフィルムを貼合せた素材 3 0 A にて構成されている。そして、印篋部 3 0 は、四角筒状の胴巻体 3 1 とその下端につながる孔開き底部 3 2 とからなり、外箱 2 1 の内面に沿うように挿入され、胴巻体 3 1 の上部の一部を外箱 2 1 の開口縁部から立上り、閉じ状態の蓋 2 2 の内面が被さって密嵌でき、その前面に凹状切欠部 3 4 を備える。本実施形態では、印篋部 3 0 は、その底部 3 2 を外箱 2 1 の底部に突き当て、接着剤を介して外箱 2 1 の内面に接着されて固定化される。但し、印篋部 3 0 は、底部 3 2 を備えることを必須とせず、又は孔なし底部を備えるものとしても良い。

## 【 0 0 1 5 】

また、印篋部 3 0 は、図 3 ～図 5 に示す如く、開封後の再閉蓋時の蓋 2 2 の縁に係止し得る蓋差込部 3 5 を備える。本実施形態では、印篋部 3 0 の前面で凹状切欠部 3 4 を区画成形している縁に設けた両側 2 条の切込線 3 5 A、3 5 A に挟まれる舌片を蓋差込部 3 5 としている。

## 【 0 0 1 6 】

底板 4 0 は、平板状をなし、印篋部 3 0 と同様に、防湿性の板紙、例えば板紙（コートボール）の内面に、ポリプロピレンフィルムを貼合せた素材にて構成されている。

## 【 0 0 1 7 】

従って、洗剤容器 1 0 の製造手順は以下の如くなる。図 5 に示す如く、容器本体 2 0 を構成する素材 2 0 A の天面形成部 5 3 の糊付け前にこの天面形成部 5 3 を開き、容器本体 2 0 の内側に印篋部 3 0 を挿入してこれを外箱 2 1 の内面に接着し、更に印篋部 3 0 の内側に底板 4 0 を挿入してこれを印篋部 3 0 の底面に接着する。続いて、容器本体 2 0 及び印篋部 3 0 の内部に板状洗剤 1 を装填し、容器本体 2 0 の天面形成部 5 3 を糊付けする。尚、印篋部 3 0 の内側に予め底板 4 0、板状洗剤 1 を収容したサブ組立体を、容器本体 2 0 の内側に挿入するものであっても良い。

## 【 0 0 1 8 】

また、洗剤容器 1 0 の使用手順は以下の如くなされる。容器本体 2 0 の易切断

部 2 3 を切断し（図 2）、蓋 2 2 を外箱 2 1 に対して開いて開封する。印箋部 3 0 の凹状切欠部 3 4 に臨む板状洗剤 1 の外縁部をつまんで該板状洗剤 1 を容器本体 2 0 から取出す。尚、板状洗剤 1 は、例えば水溶性フィルムにより包装され、手を汚さずにそのまま洗濯機に投入して使用できる。

【 0 0 1 9 】

従って、本実施形態によれば、以下の作用がある。

（請求項 1、2 に対応する作用）

①特に個装洗剤の個装材料が水溶性材質の場合、吸湿によって個装洗剤同士が貼りついたときに、容器 1 0 の正面板の凹状切欠部 3 4 から手を容器 1 0 内へ入れて、個装洗剤を容易に、確実に分離し、取出すことができる。

【 0 0 2 0 】

②容器 1 0 は、外箱 2 1 及び印箋部 3 0 が形成する収容部に板状洗剤 1 を収容するとき、外箱 2 1 の開口縁部から立上っている印箋部 3 0 に凹状切欠部 3 4 を備え、その収容部を天面側だけでなく正面板にも開口している。このため、収容部に上下に積層して収容してある板状洗剤 1 の外縁部が凹状切欠部 3 4 に臨み、両者はこの板状洗剤 1 の外縁部を容易につまんで取出しできる。

【 0 0 2 1 】

③容器 1 0 の閉蓋時に、蓋 2 2 は外箱 2 1 の開口縁部から立上っている印箋部 3 0 に嵌合し、箱内への透湿を防止し、板状洗剤 1 の吸湿を防止できる。

【 0 0 2 2 】

（請求項 3 に対応する作用）

④再閉蓋時の蓋 2 2 の縁を印箋部 3 0 の蓋差込部 3 5 に係止できる。従って、蓋 2 2 の再封止の確実を図り、板状洗剤 1 の吸湿を防止できる。

【 0 0 2 3 】

（請求項 4 に対応する作用）

⑤容器本体 2 0 の外箱 2 1 と蓋 2 2 の間の易切断部 2 3 を切断するだけで開封完了でき、開封し易い。

【 0 0 2 4 】

⑥容器本体 2 0 の易切断部 2 3 は、ミシン目、半切線等であってそのままでは

透湿し易いが、易切断部 2 3 の内側に存在する印箋部 3 0 によりその透湿可能経路が遮断され、板状洗剤 1 の吸湿を防止できる。

【 0 0 2 5 】

(請求項 5 に対応する作用)

⑦容器本体 2 0 のヒンジ結合部 2 4 が、容器本体 2 0 の背面板 2 5 と蓋 2 2 の天面板 2 6 との間の稜線に施されたから、蓋 2 2 を開けると、容器本体 2 0 の背面板 2 5 と容器背面側の壁との間に隙間がないときにも、蓋 2 2 が壁にぶつかることなく、容易に開蓋できる。

【 0 0 2 6 】

尚、容器本体と印箋部の構成素材において、プラスチックフィルムは、板紙の間にサンドイッチされ、又は板紙の内面もしくは外面に貼られるものであっても良い。また、印箋部、底板は紙に限らず、プラスチック等からなるものであっても良い。また、容器本体は印箋部を挿入されず、その正面板に凹状切欠部を備えるものであっても良い。

【 0 0 2 7 】

【発明の効果】

以上のように本発明によれば、個装洗剤を取出し易く、然もその吸湿を防止できる。

【 0 0 2 8 】

また、本発明によれば、開封性も向上できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 は洗剤容器の開封前状態を示す模式図である。

【図 2】

図 2 は洗剤容器の易切断部の切断状態を示す模式図である。

【図 3】

図 3 は洗剤容器の開封状態を示す模式図である。

【図 4】

図 4 は洗剤容器の再閉蓋状態を示す模式図である。

【図 5】

図 5 は洗剤容器の容器本体と印箋部と底板を分解して示す模式図である。

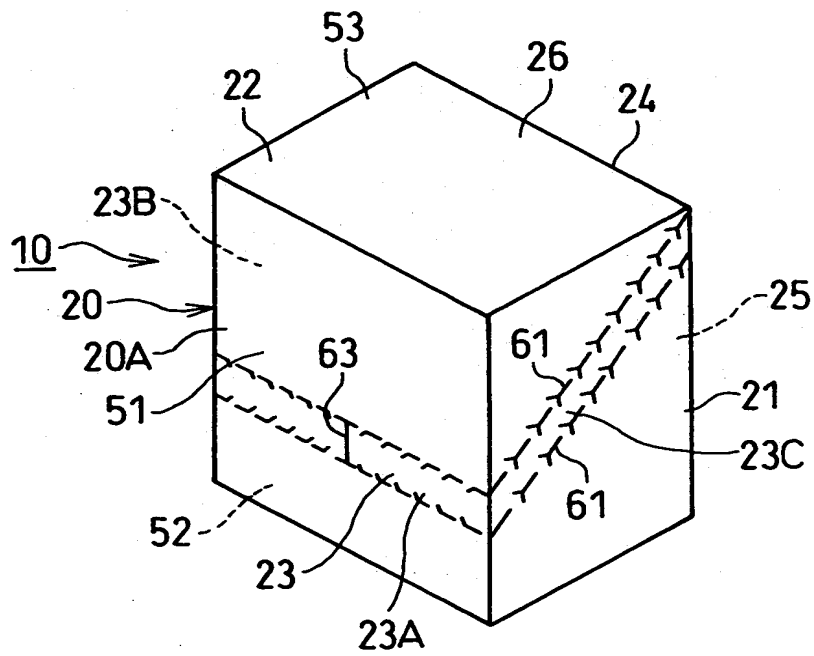
【符号の説明】

- 1 個装洗剤（板状洗剤）
- 1 0 洗剤容器
- 2 0 容器本体
- 2 1 外箱
- 2 2 蓋
- 2 3 易切断部
- 2 4 ヒンジ結合部
- 3 0 印箋部
- 3 4 凹状切欠部
- 3 5 蓋差込部

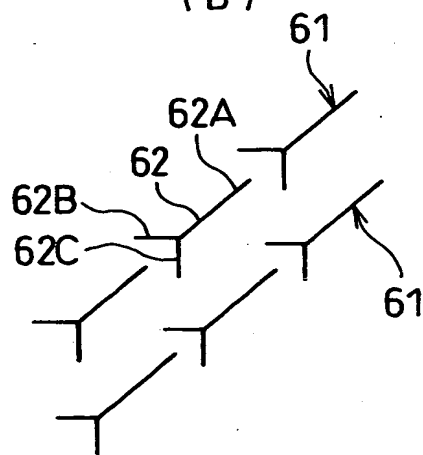
【書類名】 図面

【図 1】

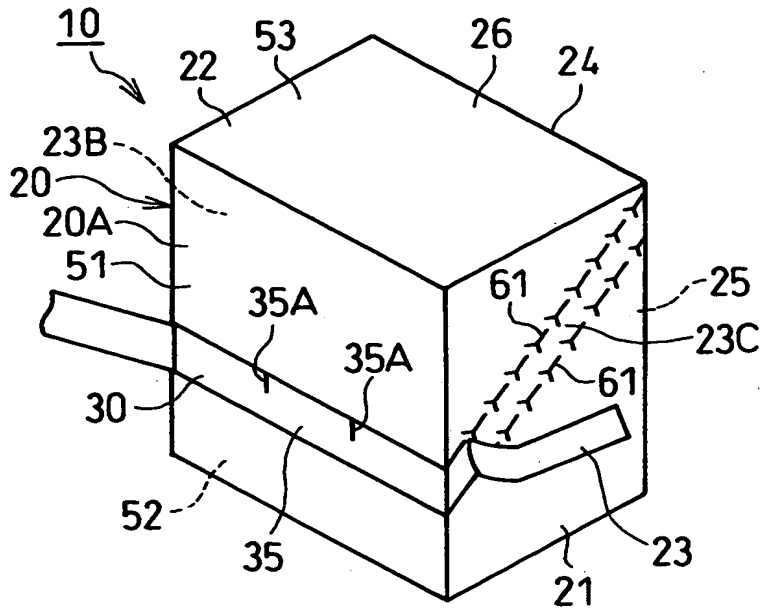
( A )



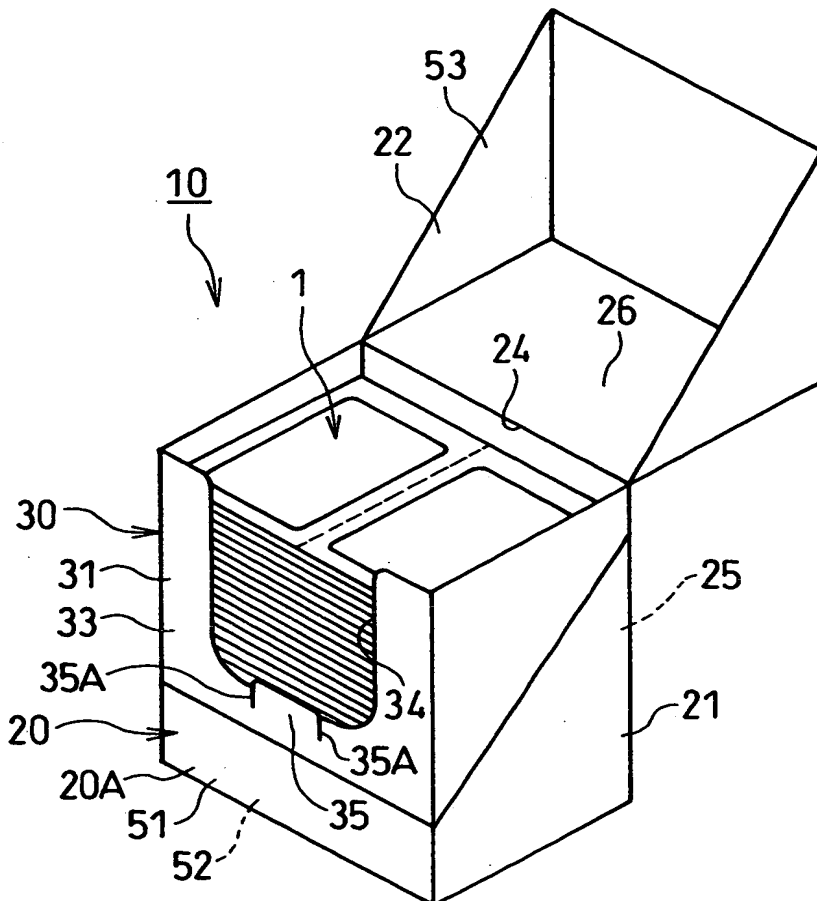
( B )



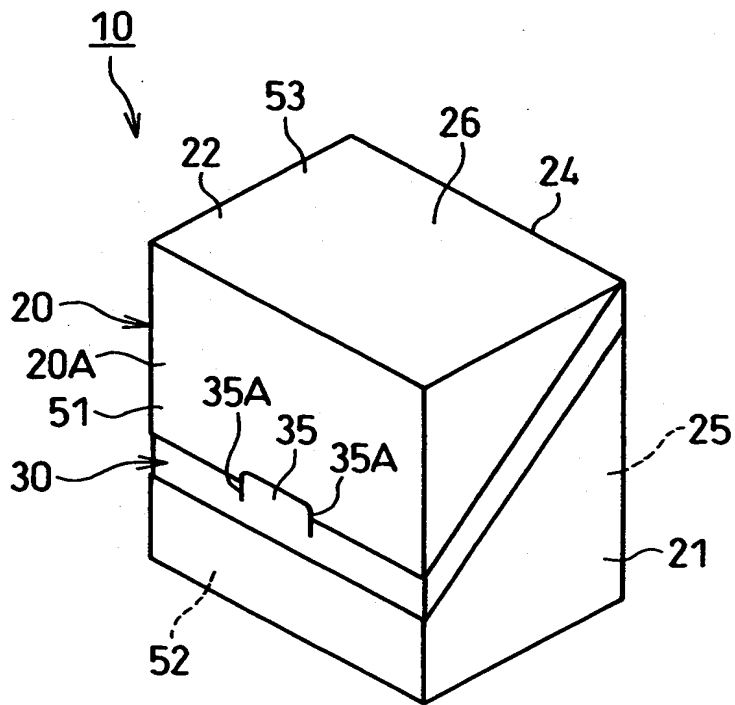
【図 2】



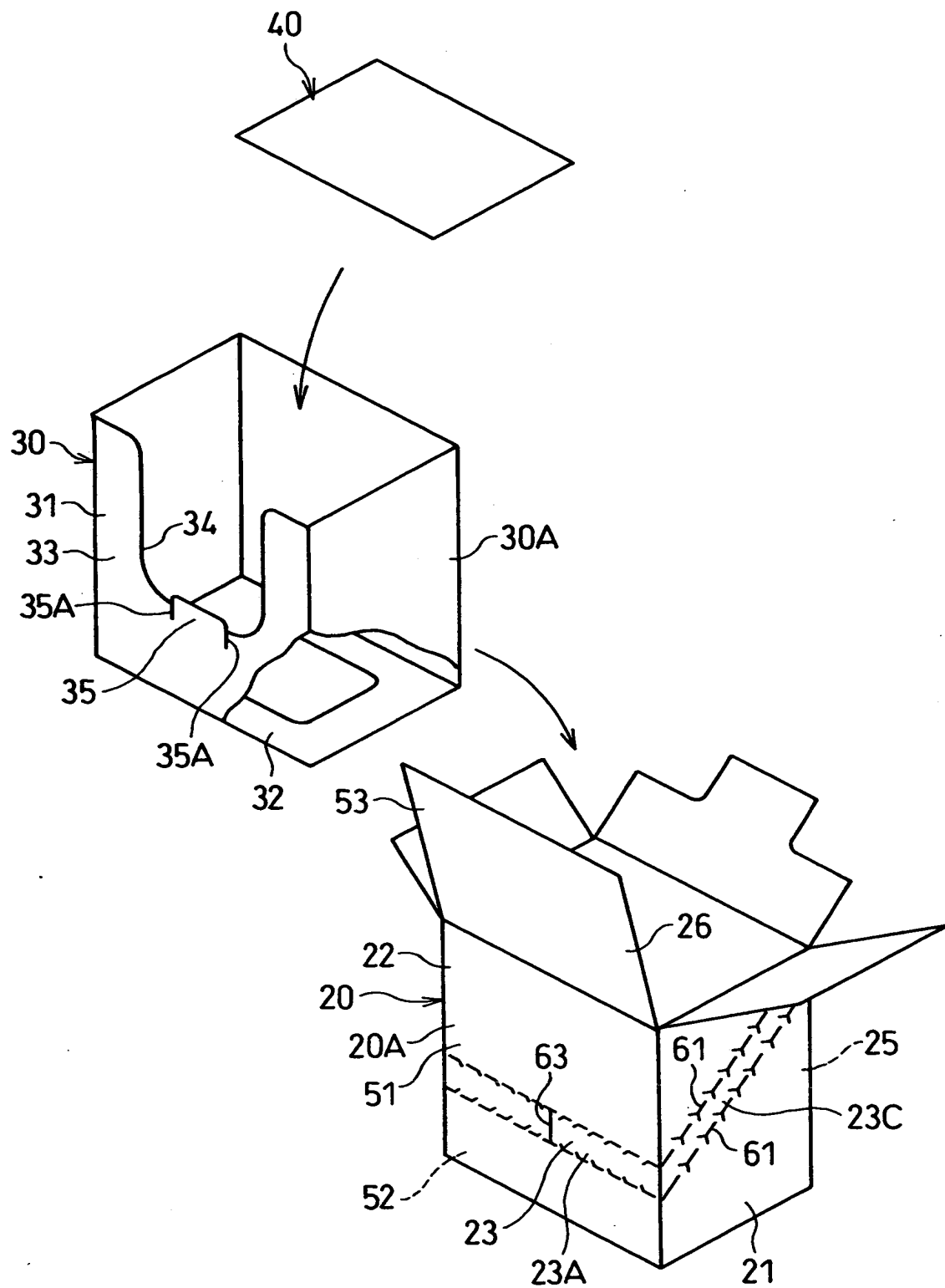
【図 3】



【図 4】



【図 5】





【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 個装洗剤を取出し易く、然もその吸湿を防止すること。

【解決手段】 個装洗剤を収容する容器 1 0 であって、容器本体 2 0 と蓋 2 2 とをヒンジ結合し、該容器本体 2 0 の正面板（印箋部 3 0）に凹状切欠部 3 4 を備えるもの。

【選択図】 図 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000000918]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号  
氏 名 花王株式会社